

(様式第 8 号)

長野県みらい基金 信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2026 年 4 月 30 日

公益財団法人

長野県みらい基金 理事長 様

申請者

所在地：長野県長野市西和田一丁目 33 番 1 号

団体名：特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト

代表者職氏名：理事長 田中宗史

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを实践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業名

子ども第三の居場所「ながのこどもわくわくカフェ」事業

2 助成対象事業の実施期間

2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

3 助成対象事業の内容

常設の子ども第三の居場所「ながのこどもわくわくカフェ」の運営 3 年目となりました。小学生以上の子どもが気軽に集い、学習支援・食事支援などを通して、学習習慣や生活習慣を身につけていかれるように地域の皆さんとともに活動しています。

また家庭での養育環境などの要因で、教育格差が生まれ、学習意欲を持てずにいる子どもも見受けられます。子どもたち一人一人がおかれた環境に関わらず、自分の未来に夢と希望をもって生活ができる環境づくりを行っています。

<子ども第三の居場所の運営>

・平日の子どもの居場所

(通常開所／月・火・水(第 2, 4, 5)・木・金 15:00～20:00)

学習支援、食事支援、相談、生活体験(食事作り参加等)など

・日曜日の子どもの居場所(通常開所／第 1・3 日曜日 10:00～15:00)

学習支援、食事支援、相談、ワークショップなど

・長期休暇中は、10:00～17:00

学習支援、食事支援、相談、体験プログラムなど

<子ども支援ネットワークの構築>

地域の連携先とともに、切れ目のない支援につなげられる体制を整えます。

4 事業の成果

別添 こどもの居場所 子ども第三の居場所 「ながのこどもわくわくカフェ」
2026 年度報告書 (4 月～3 月)

平日は 15 時から 20 時、日曜日は 10 時から 15 時、学校の長期休暇中は 10 時から 17 時まで開設し、年間 240 日延べ 1700 人ほどの子ども達に利用され喜ばれました。

日本財団からの助成が 3 年目となり助成金が減額されましたが、本プログラムにより、体験プログラムや子どもの送迎のための人材確保ができ、児童センターや子どもプラザ等へのお迎えが充実し、利用者の保護者の皆さんや子ども達に喜ばれる支援ができました。

体験プログラムの農業体験では、野菜の種まき・世話・収穫、りんごの栽培のお手伝い・収穫等をとおして、食べ物のルーツへの興味など探求心や食事においても食材や作ってくれた人への感謝の気持なども育ってきています。お仕事体験などいろんな仕事への興味や地域の人々との関わりをとおして社会性や子ども達の視野がより広まる機会となりました。

平日は 15 時から 20 時、日曜日は 10 時から 15 時、学校の長期休暇中は 10 時から 17 時まで開設し、年間 240 日延べ 1700 人ほどの子ども達に利用され喜ばれました。

5 助成対象事業の実施状況を示す書類 (添付)

- (1) 助成対象事業収支計算書
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に2～4枚添付してください。

※写真以外の成果物（チラシ・リーフレット等）がある場合には、別途送付してください。

スタッフが増えいろいろな体験ができました。農業体験



野菜の種まき・お世話

りんごの葉摘みと収穫



野菜の収穫は楽しい！



収穫した野菜の豚汁で
収穫祭



お仕事体験



こどもプラザからのお帰り

わくわく通信

VOL.8 2025年夏号 (2025.7)



もんぜんぷら座 1 階に常設されている子ども第三の居場所の日々の活動について、お伝えしていきます。

【発行】NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト

わくわくカフェで育てたい『生き抜く力』

ながのこどもわくわくカフェは、長野市もんぜんぷら座に常設の居場所として2023年4月に開設し3年目。4月1日、新1年生6人を含め10人の新しいお友達を迎えて2025年度がスタートしました。1年生の中には、お兄さんお姉さんが利用していて、自分も一緒に参加できるのを待っていた子どもたちも大勢いて、大きな人の仲間に入ったという自信が見られ、食器拭き、お掃除など上級生をお手本に積極的に参加しています。

ながのこどもわくわくカフェでは、安心して過ごせる場所で、子どもたちの『生き抜く力』の中の、「自分で決定し実行する力」、「自立して生きていく力」、「社会と繋がっていく力」の3つの力を、日々の活動や体験プログラムを通じて子どもたちに育んでほしいと考えています。



自分で決定し実行する力



ながのこどもわくわくカフェでの過ごし方は、参加する子どもたち一人ひとりが決めています。宿題をいつから始めるか、掃除の分担の内どこを担当するかといった日常の事柄から、日曜祝日や長期休み期間中に行う体験プログラムで何をしたいかなど、ながのこどもわくわくカフェ全体に関わることで、子どもたちが主体となって決定しています。



自立して生きていく力



「自分の食事を自ら用意できるようになること」を目標とし、生きるために必要不可欠な『食すること』について自立して行うことができる力を育んでいます。

日々の食事時間から食器のセッティング方法、みんなで一緒に食することの楽しさを体感。お料理教室や伝統食づくりを通して、調理方法や段取り、季節の行事を伝えています。



社会と繋がっていく力



ながのこどもわくわくカフェでは、日曜祝日や長期休み期間中、祇園祭やハロウィンイベントといった地域イベントへの参加や、地域の方を講師に迎えた体験教室を開催しています。

学校や家庭ではできない体験や、地域の方との交流を通して、子どもたち自身の意欲・関心を引き出すとともに、自己肯定感を高め、地域や社会と繋がっていく力を育んでいます。



大人気の食育講座！自分の健康は自分で守る！作る・食べるを通して！

元学校栄養教諭竹内先生のご協力のもと、毎月食育講座を開催しています。小学校低学年の子どもたちを中心に、毎回10～20名程度の子どもたちが参加しています。炊飯器やホットプレート、電子レンジなどを使って一人一人自分の食事を作ります。自宅で子どもだけでも作れるメニューで楽しく、おいしく学んでいます。

開催日や詳細は、ながのこどもわくわくカフェ HP もしくはお電話にてお問い合わせください。



長期休み期間中のながのこどもわくわくカフェについて

今年も夏休み期間中の2週間(7月28日～8月12日)を“夏休みチャレンジツアー”と題し、平日の開館時間を10時から17時まで延長します。※8月6日(水)は休館日、8月11日(月・祝)は10時から15時となります。

夏休みチャレンジツアー中は、様々な体験プログラムを子どもたちと一緒に計画する予定です。詳細については、下記『利用申込先』にお問い合わせください。

夏休みチャレンジツアー中も1日の定員は20名(先着順)です。定員に達し次第参加受付を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。皆さまのご参加お待ちしております。

《昨年度の様子》



お花をいただきました！

株式会社GREEN BASE様より、40鉢以上のお花の苗をいただき、カフェに参加した子どもたちと一緒にプランターへ寄せ植えをしました。

プランターのどこに何色の花を植えるかを話し合い、中学生がお手本を見せながら楽しく植え替えをしました。



黒板アートリニューアル

カフェ玄関横の黒板アートを今年も長野美術専門学校の皆さんにリニューアルしていただきました。

今年のテーマは『子どもたちとカブトムシ』！ 生命力の象徴である大きなカブトムシと絵筆、そして様々な場所からひょっこりと顔を出す子どもたちが目を引く作品です！



長野美術専門学校の皆さんが、暑さの厳しい中、ステキな作品に仕上げてくださいました！ 近くにお立ち寄りの際は是非ご覧ください。

心や体のお悩みはありませんか？

毎月第1月曜日
10:00～14:00

白澤章子先生による
もんぱら保健室を開所

こどもや保護者の皆様のこころやからだの悩み相談に応じます。

【今後の開催予定】

開催日時／2025年8月18日

子ども第三の居場所 ながのこどもわくわくカフェ

【開所日時】 月～金／15:00～20:00
※第1・3水曜日定休
日曜日／10:00～15:00
※第1・3日曜日のみ

【利用対象者】 小学生以上の子ども

【利用申込先】 026-225-9354

日々の活動の様子を
ホームページで紹介
しています＼(o^o)／



長期休み
期間中は
延長日あり



黒板アートが
目印です！！

【場所】 もんぜんぱら座 1 階
『FM ぜんこうじ もんぱらスタジオ』 隣

わくわく通信

VOL.9 2025年秋号 (2025.10)

もんぜんぷら座 1 階に常設されている子ども第三の居場所の日々の活動について、お伝えしていきます 



【発行】NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト

多くの皆様に支えられ 開所3年目

ながのこどもわくわくカフェは、日本財団「子ども第三の居場所事業」助成金を受けて運営しています。また、地域や企業の皆様、地域貢献団体の皆様からの心温まるご寄付、ご協力は、当法人が目指す「地域に根差した居場所づくり」を支える、心強いご支援となっています。

わくわくカフェに集まる子どもたちが、日頃から手洗いや片付けなどの生活習慣、宿題や自主学習など学習習慣を自発的に身につけるとともに、地域との交流を通してコミュニケーション能力を身につけることで、将来自立して「生き抜く力」が育まれていくことを願っています。

8月からは、日本財団「子ども第三の居場所寄付金支援事業」に応募し、『特別プログラム』を実施しています。8月には、地域企業との交流で、「降旗興業夏祭り」に公共バスを利用して参加しました。9月からは、「農業体験ツアー(全5回)」の継続企画が始まっています。

これら子どもたちの貴重な体験ができますことは、皆様方のわくわくカフェへのご理解とご共感、ご協力のお陰です。感謝とともに、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

企業の皆様との交流を楽しみました♪

7月27日(日)、(株)ジャックス様より、3年間年2回の北海道特産品のご寄付を頂くことになり、今回は「お米」「ねこんぶだし」「クッキー」等を届けていただきました。昼食のデザートに早速クッキーと一緒に頂きました。

9月28日(日)、長野北ロータリークラブ様より、「卓球台一式」「電子ピアノ」「日本の歴史全巻」「世界の歴史全巻」「防災かるた」「防災カードゲーム」の贈呈式が行われました。早速ミニピアノコンサートで電子ピアノのお披露目や長野北ロータリークラブの皆様と子どもたちが卓球やカードゲームを楽しみ昼食を頂きました。他にも大勢の皆様から、お米や野菜、お菓子等多くの支援を頂き感謝申し上げます。



7/27(株)ジャックス様

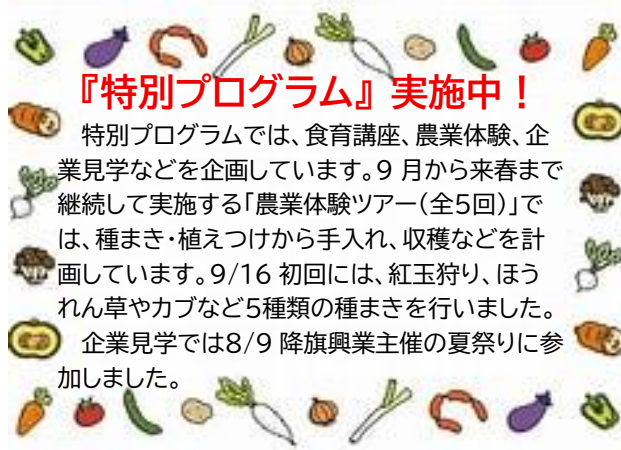


9/28 長野北
ロータリークラブ様





真島にある牧野果樹園で紅玉狩りを体験！美味しそうなりんごがあると高くまで手を伸ばしていました。



『特別プログラム』実施中！

特別プログラムでは、食育講座、農業体験、企業見学などを企画しています。9月から来春まで継続して実施する「農業体験ツアー(全5回)」では、種まき・植えつけから手入れ、収穫などを計画しています。9/16 初回には、紅玉狩り、ほうれん草やカブなど5種類の種まきを行いました。

企業見学では8/9 降旗興業主催の夏祭りに参加しました。



バスに乗って降旗興業主催の夏祭りへ。ガラス磨きなど、様々なお仕事体験をしました。

夏休みチャレンジツアー期間を開催しました！

今年も夏休みチャレンジツアー期間を 10:00～17:00 の時間帯で約2週間設けました。危険な暑さが続く異例の猛暑の今夏でしたが、約200名の子どもたちの参加があり、毎日元気で賑やかな声が響いていました。期間中はたくさんのボランティア(17名、52回)の皆さんにご参加いただき、大勢の子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりが出来ました。事前に「やってみたいこと！」を子どもたちに書き出してもらい、希望が多かった＜色が変わる焼きそば＞＜ボーリング大会＞＜赤ちゃんとのふれ合い＞など、さまざまな体験や地域交流を行いました。一部をご紹介します！

＜色が変わる焼きそば＞

焼きそばの色の变化に驚きの声。味の違いは昼食で体験！



＜ゆでたかのさんと遊ぼう＞

グループで考える問題と個人で考える問題。答えが出る度に拍手と歓声があがっていました。



＜赤ちゃんとのふれ合い＞

自分よりも小さな赤ちゃんたちとのふれ合いを楽しみました。



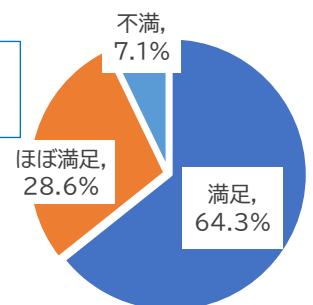
食 事

わくわくカフェでは、手作りの食事を皆で一緒に「いただきます」「ごちそうさまでした」をして頂いています。「苦手だった野菜を食べられるようになった」「初めて食べるおかずだ」など楽しい会話が弾んでいます。



利用者アンケートでは、日頃の「カフェに求めること」の上位に食事支援、安心して過ごせる場所、体験活動がありました。夏休みチャレンジツアー期間の満足度では食事支援、参加費無料、体験活動、安心感他を含め全体の 9 割以上の方に満足とご回答を頂きました。

夏休みチャレンジツアー期間のアンケート調査



心や体のお悩みはありませんか？

毎月第1月曜日 10:00～14:00

白澤章子先生による

もんぷら保健室を開所

※11月は11/10(月)に開所します。
お気軽にお立ち寄りください。

子ども第三の居場所 ながのこどもわくわくカフェ

【開所日時】月～金/15:00～20:00 ※第1・3水曜日定休日曜日/10:00～15:00 ※第1・3日曜日のみ

【利用対象者】小学生以上の子ども

【利用申込先】026-225-9354

ブログでカフェの様子を紹介→



わくわく通信

VOL. 10 2026年冬号 (2026.1)

もんぜんぷら座 1 階に常設されている子ども第三の居場所の日々の活動について、お伝えしていきます。



【発行】NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト

新年のご挨拶

2023年4月、日本財団からの支援を受け、『子ども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ』として常設の居場所を開設してから、早三年余りが経過しました。三年の間に利用登録いただいた児童は約200名に上り、近隣の小学生を中心に、長野市内各所から子どもたちが足を運んで来ています。

ながのこどもわくわくカフェでは、子どもたちの『生き抜く力』につながる、「自分で決めて実行する力」、「自立して生きていく力」、「社会と繋がっていく力」の3つの力について、日々の活動や体験プログラムを通じて子どもたちに育んでほしいと考えています。子どもとの1対1の関係性を重視しながら、子どもや保護者の課題に対して、食事提供などを通じた生活習慣の形成、学習サポートや相談対応、体験プログラムの提供などを行っています。

今年度で日本財団の助成期間が終了するため、2026年度以降は「児童育成拠点事業」として再始動する予定ですが、今後も行政・市民・企業等と連携しながら、誰一人取り残さない地域コミュニティづくりを通して、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指していきます。

NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト
理事長 田中 宗史

農業体験ツアー前半終了しました

子どもたちが「働くこと」について学ぶお仕事体験の一環として、農業体験を9月より月に一度、継続的に行っています。去る11月16日(日)をもって前半を終了しました。当日は、収穫祭を行い、豚汁や焼き芋を楽しみました。



この農業体験ツアーは、牧野果樹園様の全面的なバックアップのもと、リンゴや野菜作りに関する幅広い体験を行いました。リンゴの葉摘みや玉回しから収穫を通し、種類の多さや、収穫時期の違い、また実を丁寧に摘む作業など、子どもたちにとって初めて知る事ばかりでした。特に今年は、猛暑の影響でリンゴに傷が多く入っていて自然の厳しさも感じていました。

畑では、ほうれん草、大根、カブ、赤カブ、小松菜、チンゲンサイの種まき、収穫の体験をすることができました。野菜が育つ過程を知るとともに、穫れたての野菜の甘みや香りを味わいました。

こうした経験を通して、農業は地道な作業の積み重ねであること、また根気の大切さも理解したのではないのでしょうか。自分の口に入る食べものは、お料理を作ってくれる人はもちろんのこと、多くの人によって支えられていることを実体験で感じたことだと思います。日々の食事や食材の大切さも実感したのではないのでしょうか。

後半の農業体験ツアーは3月から始まります。まだ参加されていないお子さんにもぜひ体験してほしいと考えています。



第12回全国 KAPLA®大会入賞おめでとうございます

今年の夏休み、大勢の子どもたちが全国カプラ大会出品のために作品制作に取り組みました。ながのこどもわくわくカフェからは、3作品が佳作に選ばれました。

限られたスペースで、「ああでもない」「こうでもない」と意見を出し合い、時には言い争いや、作品が壊れるトラブルもありましたが、子どもたちは最後まで粘り強く製作を続けていました。挑戦する姿はとても頼もしいものでした。主催者の方からは、「佳作を受賞された子だけではなく、参加者全員に賞を送りたい気持ちだった」という言葉もいただきました。

カプラは、正式にはカプラ®ブロックと呼ばれ、フランスの美術史家のトム・ブリューゲンさんが考案した、「厚み」「幅」「長さ」の比率が1:3:15の木製の積み木です。シンプルながらベーシックな積み木は大人も子どもも夢中になれる魅力があります。作るのも楽しいですが、崩すのも楽しいといわれています。それはカプラが音まで計算されているからです。

今後も子どもたちが主体的に挑戦し、達成感を味わえる機会を大切にしていきたいと思います。

《佳作受賞 3 作品》



空港



水どう



KAPLA シティー



ブックオフ様より本をいただきました

11月27日に、ブックオフコーポレーション株式会社様より本の贈呈がありました。

ブックオフ様では、「地域の読書機会格差の解消」「子どもの読書習慣づくり」を目的とした『サステナブックプロジェクト』という活動を行ってられます。今回、ながのこどもわくわくカフェの活動が認められ、本をいただける運びとなりました。

当日は絵本から児童書まで86冊もの本を贈呈してくださいました。これらの本が子どもたちの心に届き、カフェにいる時間がより豊かになることを願っています。



ながのこどもわくわくカフェ運営のため 今年度も皆さまに寄付をお願いしています！

ながのこどもわくわくカフェでは今後の自立や事業継続のために、公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」を活用し、皆さまに支援をお願いしています。

「長野県みらいベース」内の「信州の特色ある学び」ページにある「いろいろな学びの場」から、子ども第三の居場所「ながのこどもわくわくカフェ」の個別ページにアクセスすることができます。

「長野県みらいベース」を通したながのこどもわくわくカフェへの寄付は税制優遇措置を受けることができますので、是非ご検討ください。詳細は「長野県みらいベース」をご確認ください。ご支援よろしく願いいたします。

ながのこどもわくわくカフェ
個別ページはこちらから



心や体のお悩みはありませんか？

毎月第1月曜日

10:00~14:00

白澤章子先生による

もんぱら保健室を開所

こどもや保護者の皆様のところから
だの悩み相談に応じます。

子ども第三の居場所 ながのこどもわくわくカフェ

【開所日時】 月～金／15:00～20:00
※第1・3水曜日定休
日曜日／10:00～15:00
※第1・3日曜日のみ

【利用対象者】 小学生以上の子ども

【利用申込先】 026-225-9354

日々の活動の様子は
ホームページで紹介
しています(´o`)／



【場所】 もんぜんぱら座1階
『FM ぜんこうじ もんぱらスタジオ』隣